

佐賀大学



施設系技術職員案内

『元気』のある方をお待ちしてます!!



佐賀大学環境施設部

ENVIRONMENT & FACILITIES DEPARTMENT

佐賀大学
環境施設部

志、挑戦、そして未来へ。

佐賀大学は1949年の創設以降、地域が求める人材の育成に継続的に取り組み、6万人を超える多くの人材を輩出してきました。

近年では2003年の佐賀医科大学との統合、2016年の佐賀県立有田窯業大学校との統合等を経て、6学部6研究科を有する国立総合大学として、教育・研究・社会貢献活動を展開しています。

佐賀市内に本庄・鍋島の2キャンパスを有するほか、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校や農場施設、さらには、芸術地域デザイン学部の設置に合わせ、「有田焼」で有名な有田町に新キャンパスを設置するなど、地域に根差した教育環境を整えています。

佐賀大学が目指す将来像 「佐賀大学のこれからービジョン2030ー」



佐賀大学に
かかわる人々が
誇れる大学

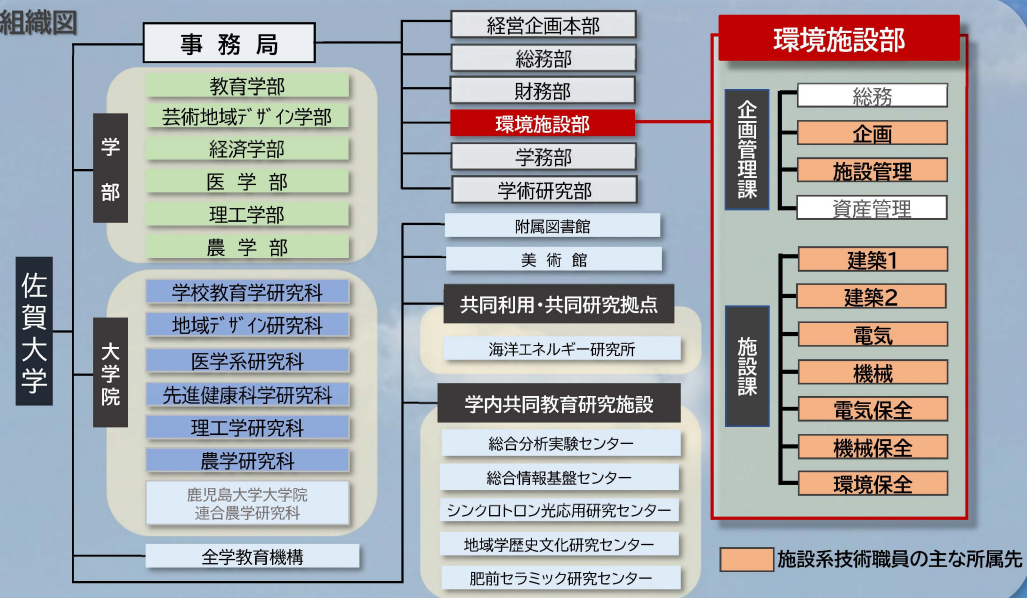
Vision
2030

佐賀大学で
学びたいと
選ばれる大学

地域社会から
期待・信頼
される大学



組織図



学生数 : 6,570名
 役職員数 : 2,068名
 (R5.5.1 現在)

施設系技術職員の仕事について

業務フロー 大学の建物を計画します！整備します！守ります！活用します！



ちがい？

施設系技術職員と研究系技術職員

よく混同されがちな「施設系」技術職員と「研究系」技術職員。同じ技術職員ではありますが、やっている仕事はこのような違いがあります。

施設系

～施設(建物やインフラ)をサポート～

キャンパス施設の「企画」「設計」「工事監理」「維持管理」すべてをマネジメントをする事務職の技術職員です

研究系

～教育・研究をサポート～

専門的な知識を活かし、教育・研究活動の現場を技術面からサポートする教育職の技術職員です

環境施設部・各課の紹介

企画管理課

- 総務
- 企画
- 施設管理
- 資産管理

企画管理課
本庄キャンパス事務所

施設系技術職員の主な所属先

企画管理課の主な仕事

環境施設部の窓口的な部署となります。建物の新築や改修、広場・道路等の屋外環境の整備、電気・給排水等のインフラ設備の整備に関わる企画・立案・予算要求を行っています。

他には工事の入札・契約や大学他部局との調整・報告、文部科学省との連絡・調整、既設建物の有効活用等スペースマネジメントも行っています。

また、大学の資産(土地・建物等)活用や教職員宿舍の管理を行っています。

総務

- (1) 工事等の予算及び契約業務
- (2) 関連する委員会等業務

企画

- (1) 施設整備に関する長期計画の策定
- (2) 施設整備に関する予算要求
- (3) 施設整備の事業計画及び実施計画
- (4) 国立大学法人等施設実態報告
- (5) 施設の災害復旧に関する業務

施設管理

- (1) 施設の点検・評価及び施設利用計画
- (2) 施設利用状況調査・統計
- (3) 施設整備全般に係る維持管理・保全の計画
- (4) スペースの有効活用、施設マネジメント

資産管理

- (1) 資産の管理
- (2) 土地及び建物の借入れ業務
- (3) 教職員宿舍、菱の美会館(宿泊施設)の管理業務
- (4) 警備、交通及び防火管理

施設課

- 建築1
- 建築2
- 電気
- 機械
- 電気保全
- 機械保全
- 環境保全

施設系技術職員は主に施設課へ配属されます

施設課
本庄キャンパス事務所

施設系技術職員の主な所属先

施設課の主な仕事

新築や改修を行う建物の設計や積算、現場監理、検査を行い、完成した建物を使用者に引渡す業務を行っています。設計事務所等との打合せを行ったり、現場の状況を把握するために利用者に対してヒアリングを実施したりします。

また教育・研究活動がより快適で充実したものになるように、大学にある建物やインフラ等の基盤を支える仕事をしています。具体的には、水道・ガス・電気・空調等の建築設備に係るインフラの設計業務、現場監理業務、維持保全業務を行っています。

建築1・2

- (1) 土木・建築・環境等全般に係る工事の設計及び積算
- (2) 土木・建築・環境等全般に係る工事の施工監理

電気

- (1) 電気設備全般に係る工事の設計及び積算
- (2) 電気設備全般に係る工事の施工監理
- (3) 電気設備のエネルギー管理

機械

- (1) 機械設備全般に係る工事の設計及び積算
- (2) 機械設備全般に係る工事の施工監理
- (3) 機械設備のエネルギー管理

電気・機械保全

- (1) 鍋島キャンパスの設備全般に係る運転監視業務
- (2) 鍋島キャンパス設備全般に係る保守点検

環境保全(本庄キャンパス勤務)

- (1) 本庄キャンパス施設等の小修繕・植栽管理業務
- (2) 本庄キャンパス施設等全般に係る維持保全
- (3) 電気設備のエネルギー管理



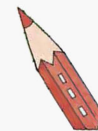
佐大と一緒に建築の仕事
をやりましょう！



●施設課 建築主担当所属
・H24.3 九州大学 工学部建築学科卒業後
現職に採用

活躍中の 先輩たち

みんな仲良く
明るい職場です！



私は主に医学部附属病院の整備を担当しています。

医師、看護師、事務職員の方々の声を設計に反映し、患者さんが安心して受診できる環境づくりを目指しています。患者さんやスタッフの方が、自分が設計から現場監理まで携わった施設を利用している姿を見ると、「がんばって良かったな」と思いますし、そこにこの仕事のやりがいを感じています。

また、私は1児の親でもあり、子どもが体調を崩した時には看病のため急に仕事を休むことがあります。そのような場合のための特別休暇制度があるなど、育児に関する福利厚生が充実した職場です。もちろん、業務についても先輩や上司が優しくフォローしてくれますので、仕事と育児を両立した生活ができています。

私は建物の機械設備に関する設計や工事監督を行っており、大学を運営していく中で必要不可欠となる空調や給水設備を取り扱っている業務なので、学生さんの研究活動や教育の支えになっていることにやりがいを感じます。

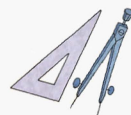
逆にこれらの設備に不備があると大学の運営に及ぼす影響も大きいので、責任も大きいですが、無事業務を完了したときの達成感を得られるのもこの業務の魅力です。就職してから色んな工事を担当し、初めは分からないことが多く、悩むことが多かったのですが、先輩方に優しく教えていただきながら業務を覚えて行くことができました。

福利厚生の面では、有給休暇を取りやすい職場なので、業務の段取りができれば、好きなタイミングで休暇をとることができ、仕事もそれ以外も充実した日々を過ごすことができる環境だと思います。

●施設課 機械主担当所属
・H29.3 長崎大学 工学部 工学研究科卒業後
民間企業をへてH30.11月現職に採用



一緒に働くのを
楽しみにしています！

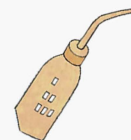


私の所属する電気主担当は、大学施設の電気設備に関する設計・積算・工事監理を担当しています。受変電設備から照明・コンセント・通信設備など幅広い知識が必要で、5年目の今でも日々学ぶことばかりです。大学時代や前職の知識を全く使わないわけではありませんが、必要な知識のほとんどが入職してから学びました。上司や先輩からは優しく教えてもらえますし、工事業者さんから学ぶことも多いです。建物の計画から完成まで、たくさんの人と関わりながら建物を作りあげて、仕事の成果が形として残ることはこの仕事の大きな魅力だと思います。

また、有給休暇も取りやすくプライベートも大事にできます。資格の試験前は休日に勉強することもあり、鍋島キャンパスの図書館が気に入っていてよく利用しています。令和3年度に改修工事をしており、綺麗で快適なので勉強が捗ります。

電気設備を通じて佐賀の方々、学生・教職員の方々の安心・安全な施設づくりに貢献できることを嬉しく思っています。このやりがいのある仕事に、一緒に取り組んでみませんか。

●施設課 電気主担当所属
・H28.3 佐賀大学 理工学部電気電子工学科卒業後
民間企業をへてH31.4月現職に採用



佐賀大学のこれからを一緒に
創っていきましょう！
(企画管理課長)



●鍋島キャンパス 施設課一同

若い人材が多数
活躍しています！
(施設課長)



●本庄キャンパス 企画管理課・施設課一同

キャンパス施設の紹介(環境施設部実施の業務)

美術館



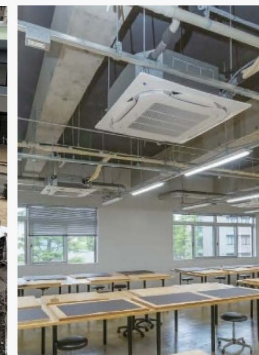
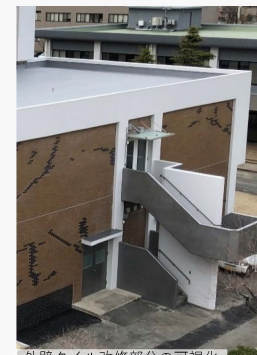
- ①理工学部4号館 令和3年3月 改修
鉄筋コンクリート造 地上4階 約2,280㎡
- ②産学交流プラザ 令和3年7月 改修
鉄筋コンクリート造 地上3階 約1,700㎡
- ③附属小学校体育館 平成26年9月 新営
鉄骨造 地上2階 約1,440㎡
- ④附属病院中央診療棟 平成29年3月 改修
鉄筋コンクリート造 地上7階 約5,490㎡
- ⑤自家発電設備 平成25年1月 改修



最近のプロジェクト (大学校舎の改修)

“地域の縁側”(=社会との接点)をコンセプトにした校舎

理工系のキャンパス・施設の魅力化



■施設整備の背景

本施設は理工学部都市基盤工学コース、建築環境デザインコースの2コースが使用し、両コースともソフト面として様々な形で地域に根ざした教育研究を進めて来たものの、ハード面では大学と地域をつなぐ拠点としての整備は不十分なところが多かった。本事業は研究成果を地域の人々と共有する拠点として、より密接な地域との連携を進める建物となるよう整備を行った。

■設計コンセプト

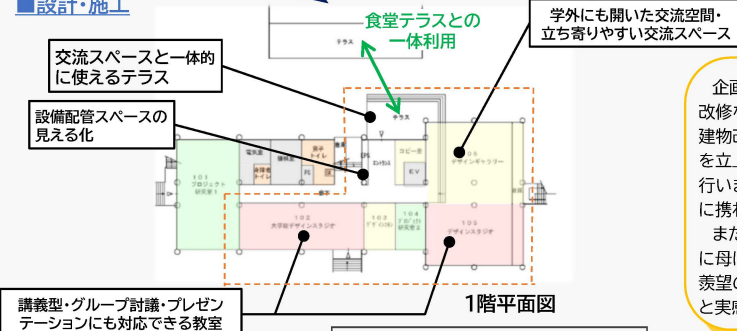
ラーニング・ループの教育環境を目指して
=学びの環境がある学び舎=

- 校舎自体が「地域の縁側」(=社会との接点)となることを目指す
- 教育型授業から学び型授業(アクティブ・ラーニング)までに対応し、**Learning1.0**(従来型の授業)・**Learning2.0**(アトリエ・工房・実験室)・**Learning3.0**(パフォーマンス・プレゼンテーション)
- 多様なアクティビティが集し、様々な体験も場をもつ**部局共用全学交流スペースを1階に配し、地域へ開く**
- 校舎の教材化**(構造や設備のエレメントを意図的に露出)による教育研究拠点
- 理工学部都市基盤工学部建築系教員による**実験的な改修計画による話題性を創出し**、大学のブランディングに寄与する

【外観】 外観の劣化部分の補修内容を可視化し、建築を学ぶ学生の生きた教材として活用
・タイル面：タイル浮き部等を補修し、改修部分を可視化
・柱、梁：劣化部分を特殊モルタル等で補修し、改修部分を可視化

【内観】 構造躯体や設備配管等を可視化し、建築を学ぶ学生の生きた教材として活用
・天井内：大部屋をスクルトン天井とし、躯体(スラブ・梁)の劣化補修部分や空調・設備配線等を可視化

■設計・施工



凡例

- 部局共用スペース
- 学長裁量スペース
- トイレ
- EV・設備室
- 製図室

■基本情報
建物名：理工学部4号館
工期：令和2年7月～令和3年2月
構造規模：鉄筋コンクリート造 4階
建築面積：674㎡ 延床面積：2,283㎡

企画管理課企画担当は主に予算要求や建物改修などの基本計画の策定を行っています。この建物改修の際には理工学部4号館改修ワーキングを立ち上げ建築系教員と環境施設部で設計監修を行いました。基本計画からキャンパス施設の整備に携われることはこの仕事の魅力です！

また、私は2児の母親でもあるのですが、我が子に母は大学の建物を作っているんだよと話すと、羨望の眼差しを向けられます。とても良い仕事だと実感する今日この頃です。

●企画管理課 企画担当所属
・H21.3 熊本県立大学 環境共生学部
居住環境学専攻卒業後 現職に採用



勤務形態など

● 勤務時間と休日

8:30～17:15(休憩12:00～13:00)

実働1日7時間45分です。

休日は土、日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)です。

● 休暇・休業制度

有給休暇:1年に20日(翌年への繰越し可)

その他、夏季休暇(3日間)、夏季一斉休業(8/13～15)、忌引き、

結婚休暇(5日間)、介護休暇(要介護者1人につき5日、最大10日)、

産前・産後休暇、配偶者出産休暇(男性:2日)、男性の育児参加休暇

(男性:5日)、子の看護休暇(男女とも:小学生までの子1人につき5日、

最大10日)などの特別有給休暇、病欠有給休暇などがあります。

休業:育児休業(男女とも:子が3歳になるまで取得可)、介護休業

※所属部署によって一部変動します。

● 給料と手当

昇給 年1回

賞与 期末・勤勉手当 年2回(6月・12月)支給

諸手当 通勤方法、住まいや家族の状況、勤務実績に応じて、

通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当など

を支給します。

● 福利厚生

文部科学省共済組合加入

健康保険・年金等、雇用保険・労災保険加入

人間ドッグ助成、映画・宿泊・レクリエーション

施設利用等の助成

キャンパス内の施設利用可能

(利用可能施設の例)

・体育施設(トレーニングルームを含む)

⇒心身ともにリフレッシュ

・図書館⇒本・新聞を読んでリフレッシュ

資格勉強スペースとしても活用

・学食⇒安くておいしい、栄養たっぷり

・農学部農場の野菜販売⇒新鮮でおいしい ※不定期開催、月2～3回程度

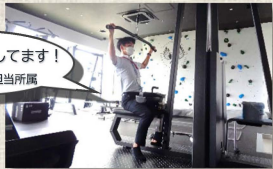
昼休みにも運動します！
施設課 電気担当所属



野球場・グラウンド・体育館



図書館



トレーニングルーム



学食(教職員利用可)
ランチで500円程度



キャリアパスの流れ

(20～40代) 課員⇒主任⇒係長
(40代～) 副課長⇒課長⇒部長



職員の保有
資格など

- ・一級建築士
- ・二級建築士
- ・建築設備士
- ・エネルギー管理士
- ・電気主任技術者 など

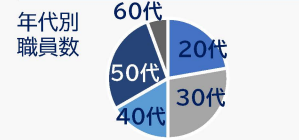
数字で見る佐賀大学環境施設部

(2024年7月1日時点)

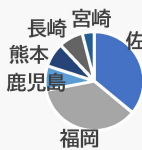
環境施設部職員数 ※非常勤・再雇用者含む

男性 26名 女性 10名

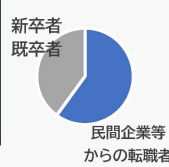
(建築12名 電気7名 機械9名 事務8名)



出身地



採用者の内訳



資格保有者数一覧

・一級建築士:3名

・二級建築士:6名

・一級管工事施工管理技士:3名

・二級管工事施工管理技士:4名

・建築設備士:1名

・消防設備士:4名

・エネルギー管理士:2名

・第三種電気主任技術者:3名

・第一種電気工事施工管理技士:2名

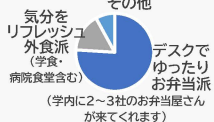
・第一種電気工事士:4名

・第二種電気工事士:7名

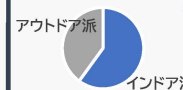
・第一種衛生管理者:4名

危険物取扱者(乙4類)、製図検定2級、日商簿記検定3級、玉掛け免許、ガス溶接 etc.

主なランチ



休日の過ごし方



ホークスファン 野球観戦 家族 推し活 ツーリング
筋トレ・サウナ ドライブ 子ども
外食 買い物 昼寝 公園
ゲーム 釣り プロスポーツ観戦

※回答者の88%が休みをとりやすい環境と回答しています

その他(よくある質問など)

● デスクワーク以外の仕事について

・施設の不具合やトラブルがある場合、現地に駆け付けて問題の調査を行います

・計画や設計を行う際、現地に向向いて調査、施設利用者にヒアリングを行います

・工事中の建物があれば、現場に向向いて施工監理を行います。工事現場に常駐するのではなく、週に1回程度現場に行くような感じです

● 施設系技術職員が設計業務に従事することはあるか

・少額の工事は自分たちで現地調査や施設利用者にヒアリングを行い設計、図面作成、積算を行います

・大型の入札工事については、設計事務所に業務委託を行います。業務委託をする場合は施設系技術職員が設計の方針を設計事務所に正確に伝えて業務の目的が実現できているか、利用者の意向がきちんと反映された設計ができていないかチェックを行います

● 施工監理について

・本大学が施工業者に発注した工事が、きちんと設計図通り施工されているか、検査や確認、打合せを行います

○図面に記載された機器が正確に納入されているか

○鉄筋が図面通り配筋されているか

○工事が問題なく進捗しているか 等

● 採用後の研修について

・入職一年目の職員全員を対象とした佐賀大学内の研修(事務系職員など他部署の同期と繋がるきっかけになります！)

・全国の施設系大学職員を対象とした初任者研修や中堅研修、講習会

・九州地区の施設系技術職員を対象とした中堅研修や技術者研修 等

● 専門的な知識や経験に自信がないが大丈夫か

・1年目は必ず係長や主任と一緒に仕事をし、設計・積算・施工監理のやり方は上司や先輩が教えてくれます。ご安心ください！

● 休日出勤について

・平日にできない工事をする場合等には休日出勤を行うことがあります。その場合、振替休暇制度により休日出勤した日数分、平日に休みを振り替えることになります。頻度についてはその年の工事量によりますが、病院関係の工事に従事する場合は多くなる傾向にあります。

● 配属の希望について

・毎年、職員人事シートにより、自らの希望を伝える機会があります(配属先については、本人の適性等を考慮し決定されるため、必ずしも希望が通るわけではありません)

・佐賀大学内の異動は主に環境施設部内です

・他機関への異動は本人が希望しない限り基本的にありませんが、関連機関(文部科学省、国立大学、国立高等専門学校)との人事交流を行っています

佐賀大学施設系技術職員の魅力

・和気あいあいとした雰囲気、優しい先輩

・安定性と充実した福利厚生、ワークライフバランスのとれた職場

・多様な職員、学生、外部企業、団体との交流によって得られる幅広い知識や教養

・病院、美術館、学校など様々な施設の整備・運営に関わることができる

・建築士取得に必要な実務経験が得られるなど、業務に必要な資格を取得しやすい環境



関連機関

文部科学省
国立大学法人各大学
独立行政法人国立高等専門学校

別の機関へ異動することは基本的にありませんが、
関連機関への人事交流
などを行っています。

交通アクセス

- ◆佐賀駅バスセンターからバスで約15分
「4番のりば」から市営バスで「佐賀大学前」下車
- ◆佐賀駅からタクシーで約10分
- ◆佐賀空港からタクシーで約20分

待ってます！



佐賀大学公式マスコット
「カッチーくん」
好きなもの：さがほのか
苦手なもの：グリーンピース



佐賀大学環境施設部

<http://www.shisetsu.admin.saga-u.ac.jp/index.html>

